

<p>学校名</p>	<p>熊谷市立荒川中学校</p>	
<p>1 活動の概要</p>	<p>①中学3年生対象に熱中症予防啓発標語コンクールを実施しました。校内での優秀作品については表彰し、のぼり旗・横断幕を作成しました。</p> <p>②STOP コロナ！今わたしたちにできること～感染症対策バッチリ！熱中症対策～感染症対策と熱中症対策を合わせたポイントのDVDを作成しました。熊谷市の熱中症発生状況を消防本部に取材し、保健委員会だよりやDVDに掲載しました。</p> <p>③感染症対策と熱中症対策で、非接触型体温計を設置しました。</p> <p>④夏休み中の部活動では、熱中症指標計で熱中症レベルを測定し、給水タイムや休憩タイムを積極的に設定しました。</p> <p>⑤環境委員会で、教室に「よしず」と「グリーンカーテン」を設置しました。</p> <p>⑥体育委員会で冷水器の側面に「よしず」を設置しました。</p> <p>⑦体育委員会でテニスコートの脇に遮熱シートでタープを設置しました。</p>	
<p>2 活動の様子や成果、工夫した点</p> <p>主な活動</p>	<p>☆熱中症予防啓発標語校内コンクール開催【活動の様子や成果】</p> <p>3年生が、熱中症予防を地域へ啓発するために、熱中症予防啓発標語を作成しました。校内でコンクールを開催し、優秀作品はのぼり旗に、最優秀作品は横断幕にして昇降口階段に掲示しました。</p> <p>【工夫した点】</p> <p>のぼり旗と横断幕は、学校の北側の道路からも見える場所に掲示して、地域の方へも熱中症予防を啓発しました。</p> <p>☆STOP コロナ！今わたしたちにできること～感染症対策バッチリ！熱中症対策～【活動の様子や成果】</p> <p>3年生の保健委員が、感染症対策と熱中症対策を合わせた熱中症予防啓発の計画を立てました。市民の方へ向けて、熊谷市内の熱中症発生状況を消防本部に取材し、年齢別・月別・ケース別についての特徴をまとめ、保健委員会だよりを作成しました。</p> <p>また、感染症対策と熱中症対策の両立に必要な取組をまとめてDVDを作成しました。DVDを作成については、内容の検討会やレイアウト・パッケージ・内容の表現・言葉遣いなど6月～8月初旬の2ヶ月かかって完成しました。</p> <div data-bbox="395 1480 778 1693"> </div> <div data-bbox="794 1480 997 1693"> </div> <div data-bbox="1013 1451 1230 1693"> <p>熊谷市民の方へ配付していただきました。DVDは、本校HPからYouTubeで視聴できます！</p> </div> <div data-bbox="1238 1451 1474 1693"> </div> <div data-bbox="395 1720 943 2065"> </div> <div data-bbox="954 1720 1453 2065"> </div>	

【工夫した点】

コンセプトは感染症対策と熱中症対策の両立です。

①健康観察・体温確認②マスクの着脱と水分補給③エアコン使用時の換気④密集回避⑤手洗い⑥日傘の使用とソーシャルディスタンスなどの共通ポイントをまとめました。

また、熊谷市の最高気温 41.1℃に因んで、熱中症対策グッズ (DVD・保健委員会だより・うちわ・冷タオル・塩タブレット) を411セット作成しました。



☆感染症対策と熱中症対策を合わせた非接触型体温計の設置

【活動の様子や成果】

熱中症で体に熱がこもると体温が上がるため、生徒用昇降口に非接触型体温計を実施しました。気温の暑くなった日など、積極的に生徒が検温している姿がみられました。

【工夫した点】

暑い中での学校生活。自分自身の健康管理をするためにも体温チェックがセルフでできるようにしました。



☆夏休み中の部活動での熱中症指標計での熱中症レベル測定

【活動の様子や成果】

夏休みの各部で活動中に熱中症レベル値を確認しました。「レベル4：嚴重注意」の時の注意喚起とこまめな休憩や給水タイムを実施しました。「レベル5：危険」の時は、速やかに涼しい場所での活動に切り替えることができました。

【工夫した点】

熱中症レベルを測定したら、結果を部内ですぐに確認するようにしました。このことで積極的に給水タイムや声かけができるようになりました。

☆教室のベランダに「よしず」「グリーンカーテン」を設置 校庭にある冷水器の「ひさし」脇に「よしず」を設置 テニスコート脇に遮熱シートでタープを設置

【活動の様子や成果】

環境委員の生徒が、各クラスの教室の「グリーンカーテン」の隣に「よしず」を設置しました。サーキュレーターと二酸化炭素測定器も設置し、エアコン効率アップと常時換気を実施しています。また、校庭の部室棟の東にある冷水器の衛生管理と日差し除けに「ひさし」と「よしず」を設置しました。

体育委員の生徒が熱中症予防啓発の掲示物を作成し、ひさしに掲げました。

テニスコート脇に日陰がなかったので遮熱シートを利用して、タープを設置しました。



【工夫した点】

エアコン使用時に日差し除けでカーテンをすると換気効率が下がるため、カーテンの代わりに「よしず」を使用すると、日差しを除けるとともに涼しい風が入ってくるので快適に学習することができました。遮熱シートをタープにすることで、涼しい場所を確保することができました。

3 今後の課題

熱中症予防の観点から、5月～6月の早い時期での暑熱順化の取組が課題である。年間を通して、計画的に暑さ対策の取組を生徒会：保健委員会を中心として、さまざまな委員会での活動に広げていきたい。